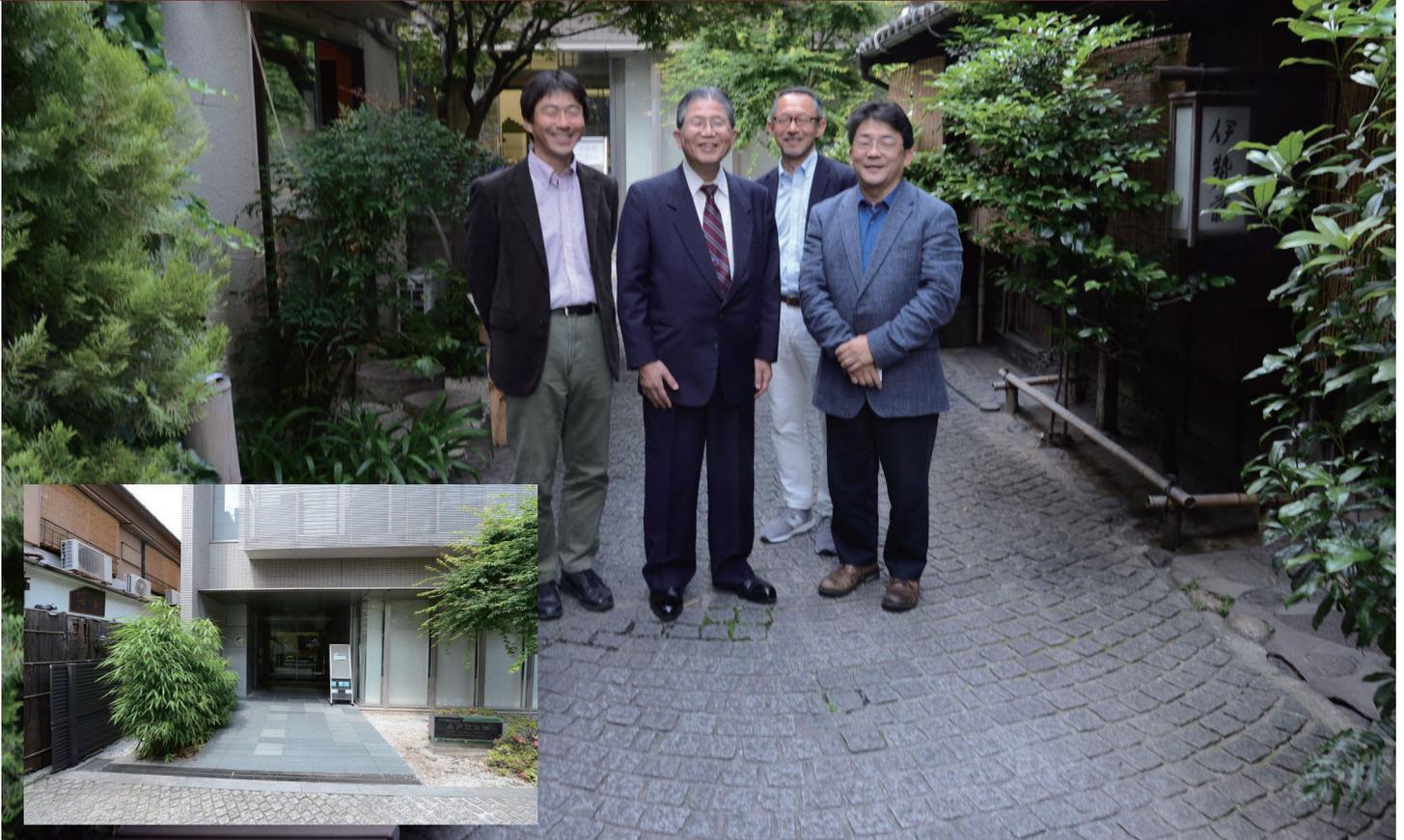


築理会 会報

東京理科大学工学部建築学科校友会

2017 Autumn vol.60



トピックス・イベント

- * 平成 29 年版築理会名簿が発行されました
- * 辻本誠教授が退任されました
- * OBOG と学生との交流会が開催されます
(11/18) 葛飾キャンパス
- * 来年の築理会新年会 (1/17) は野田建築会と共催
です。多数のご参加お待ちしております

【表紙写真】神楽坂・森戸記念館前にて
右から山名教授、安達氏、藤嶋昭東京理科大学学長、
今本教授

CONTENTS

- 2 P 築理会は皆様に支えられています
築理会と理窓会
- 3 P 1 部建築学科卒業制作・築理会賞審査会
理工学部建築学科 50 周年
ここ 3 年間の就職・進学状況
- 4, 5 P 講演会「二つの世界遺産」
国立西洋美術館と軍艦島
- 6 P 辻本先生退任
建築学科教員・退任、新任
- 7 P カリフォルニアから
青森市 夫婦二人の設計事務所
- 8 P 平成 28 年度決算報告
平成 28 年度成績・卒業制作最優秀、
築理会賞、編集後記

築理会は皆様に支えられています
 昨年の会費収入 90.6 万
 会費納入者 163 名

大岩昭之（築理会会長 1968 年卒）

築理会の歴史は古いです。現在の形の「築理会」は 1983 年からですが、その前身の「築理会」として「築理会名簿」の発行は 1971 年（s.46）から出されています。4 回目の名簿発行である 1980 年の時の記録でみると 560 名に配布（会費納入）されています。これは当時の卒業生数からみると、約 43% から支持（支援）されていたことになります。

今から約 20 年前（1998 年）の「築理会報」で特集「築理会はどこへいく」で私（大岩）が事務局長していた時の記事で“3 年ほどまえ（1995 年）に築理会の活性化を始めた時は会費収入として 294 万ありました。その翌年の 96 年に会費を払った人は 460 人、97 年は 464 人でした。ところが今のところ、今年は前年より 100 人以上減っている。手持ちの資金も最も少ないという状況で、なぜなのか真剣に考えないとまずい。・・・”と記載されています。築理会の活動（会費収入）には波があります。

会費が落ち込んだ時は何度かありました。しかし昨今は、以前にもまして深刻かと思えます。とくに昨年の会費収入は 90.6 万です。築理会は皆様に支えられています。今年は名簿も発行します。今年の会費をお支払いいただいた会員の皆様には名簿をお送ります。築理会へのご支援よろしくお願ひします。

築理会と理窓会



石神一郎（理窓会会長 1970 年卒）

東京理科大学理窓会の会員は 21 万人になりました。現在、理窓会が目指しているのは会員同士のネットワークの拡大と大学への応援、会員への支援です。

このところ力を注いでいるのはまず、在学生への支援です。経験を積んだ卒業生の講師が就職活動や社会人としての経験をお話ししていただくキャリア支援教育・就職活動支援などです。

また、東京理科大学は日本の理科大から世界の理科大を目指しております。理窓会は海外にも目を向けてまいります。すでに北カルフォルニア、上海、シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイの 6 ヶ国に海外理窓会をここ数年で設立しました。さらに、ベトナム理窓会の設立準備を進めております。そして、今年の 5 月から働く意欲のある方に再就職支援を行っております。

理窓会が充実した活動ができるのは築理会の支援があるからだと思っております。理窓会会長をはじめ副会長、常務委員など 4 名が築理会役員と兼務しております。築理会は建築学科の応援にも力を注いでおりますが、教授陣とのコミュニケーションを円滑にし、学生との交流を深めながら、社会に役立つ人材が多く輩出されることを期待したいと思います。

平成 29 年度 築理会総会開かれる

平成 29 年 5 月 27 日（土）、森戸記念館地下フォーラムで平成 29 年度築理会総会が開催されました。大岩会長の挨拶では、前年度に行ったホームページのリニューアル、今年度の名簿発行など、又、築理会会費落ち込みの危機感などを話されていました。

総会では、大岩会長の会長継続、又、副会長に稲垣雅子氏（1979 卒）が承認されました。総会後の講演会「二つの世界遺産」は P.4~5 に掲載されていますが、山名・今本両先生、それに安達氏の司会で大変興味深く有意義な講演会でした。講演会後は場所を神楽坂校舎 8 号館 2 階学生食堂に移し、恒例の懇親会が開かれました。今回の出席者は 55 名、来賓としては藤嶋昭学長、野田建築会からは山崎会長、栗飯原副会長、それに教員（本学出身以外）7 名、特別会員の直井先生、築理会会員 44 名でした。築理会会員の出席は、幹事以外はあまり多くないのは、少し残念です。来年は多くの卒業生が来られることを期待しています。



1 部建築学科卒業制作 築理会賞審査会



(廣谷純弘 1980 年卒)

平成 29 年 2 月 11 日一部建築学科卒業制作の築理会賞・審査会が葛飾キャンパスで行われた。

審査は、山本力也さん (SANNA パートナー・

2000 年卒)、虎尾亮太さん (隈研吾建築都市設計事務所設計室長・2005 年卒) と審査委員長の私の 3 名で行った。

まずは候補作品について審査して 3 作品に絞り込み、これらを公開審査の対象としたが、どの作品も質が高く、審査は難航した。伊藤愛さんの「かわすアジトと都市の関係—住みやすいようにまちは変えられる—」は住宅と街との隙間を意識しながら鳥瞰的な意識をもち、街を再構築する作品。丸山航君の「大地の重奏」は渋谷の宮下公園を立

体的に再構築し街に刺激を与える作品。議論は白熱し、投票となったが審査員の 3 票が分かれてしまった。再度、細かく 3 作品を見直した結果、近藤君の作品が築理会賞に選ばれた。

近藤 弘起君の「電都創成」は小水力発電をテーマに水空間と建築からなる街の再整備を提案した作品。それぞれに個性的で魅力的な案であった。私にとって卒業制作は、学生生活最後の課題であるとともに、社会に出た後も振り返る指標の一つであった。築理会賞の審査に関われたことに感謝したい。

また、近藤君の作品は専任の先生方が選ぶ学科の優秀賞にも選ばれたことを報告して、彼らのさらなる成長に期待したい。



理工学部建築学科 50 周年

(野田建築会会長 山崎晃弘)

本年度、創設 50 周年を迎えた理工学部建築学科では、『UNGA NEXT』のテーマで、縦と横の繋がりを深めるための企画として、在学生へ OB 特別セミナーや運河シアターナイトの支援、卒業生を含めた記念デザインコンペ「利根運河 夢の架橋」の応募を行なっています。イベントは

10/29(日)のホームカミングデーに併せ、『野田建築 50 周年大同窓会』として、コンペ表彰式や三分一博志氏 (1992 年卒) 特別講演、懇親会が行われます。さらに、卒業設計・企業 OB 会・歴代卒業アルバム展示、50 周年記念誌配布等、久々に訪れる OB/OG や来場される大勢の方々に楽しんでもらいたいと思っています。

東京理科大学理工学部創設 50 周年記念デザインコンペ



利根運河 夢の架橋

ここ3年間の就職・進学先

ここ 3 年間の、進学と就職をあわせた進路の内定率は工学部建築学科で 97-8%、工学部二部建築学科で 90%前後、大学院修士課程で 90-98%と、高めとなっています。大学院への進学は工学部でおよそ 6 割、工学部二部で 2-3 割

	卒業年度	進学	就職	未定	進学就職内定率
工学部	2014	52	36	2	98%
	2015	59	40	3	97%
	2016	62	45	2	98%
工学部二部	2014	25	43	8	89%
	2015	16	50	6	92%
	2016	21	56	10	89%
大学院修士	2014	1	52	3	95%
	2015	2	48	1	98%
	2016	1	52	6	90%

ここ 3 年間の就職・進学の内訳

というのが近年の傾向です。進学率は景気が良くなると下がるとも言われますが、それなりの数値を保っています。大部分が理科大学大学院への進学ですが、毎年数名、東大、東工大、慶応、早稲田等の大学院へ進んでいます。

就職先はかなり多岐にわたっており、傾向を読み取るのは難しいですが、工学部、工学部二部、修士を合わせ複数名が就職している企業として (カッコ内はこの 3 年間の内定者数)、竹中工務店 (10)、長谷工コーポレーション (9)、日建設計 (7)、鹿島建設 (7)、清水建設 (6)、大林組、大成建設、大東建託、大和ハウス工業、東急建設 (いずれも 5) などが挙げられます。日建設計 (7)、松田平田設計 (4)、安井建築設計事務所 (4)、日本設計 (3) などは修士卒のみの内定でした。公務員は学部・修士合わせ 2014 年 10 名、2015 年 13 名、2016 年 6 名となっており、複数名が東京都職員 (5)、また神奈川県横浜市職員 (6) となっています。

二つの世界遺産 ～国立西洋美術館と軍艦島～

2017年5月27日(土)の築理会総会では、記念講演として同窓の山名善之教授、今本啓一教授を招いて「二つの世界遺産」と題するトークセッションを行った。司会は会報委員、安達(1986年卒)が務めた。

両氏はともに「建築と社会の関係性」というものを強く意識しながら、日々の研究・活動を行っている。当日のセッションでも、二人が関係してきた「二つの世界遺産」を題材にしなが、ら、「建築と社会の関係性」を基軸に討論を進めることにした。

まずは山名教授に「国立西洋美術館の世界遺産への道のり」として、実体験を随所に織り込みながら、国立西洋美術館が世界遺産に登録されるまでの舞台裏を語ってもらった。

つかみのストーリーからして劇的だ。イスタンブールで世界遺産登録が決まったのは2016年7月17日午前11時。実は前日の審議予定がクーデターによって延期されていた。本人いわく「クーデターであわや命を失いかけた」というエピソードから入り、世界遺産登録に向けた活動は2001年から3回目のチャレンジ、15年に及ぶものであったことが説得力のある言葉で語られた。15年もの長い時間を要した理由は主に二つ。ひとつは世界遺産の運用規定そのものの整備から始めたこと。もう一つ



国立西洋美術館

は大陸をまたぎ、特定の建築家が築いた文化を紐解くという前例のない推薦書をつくる必要があったこと。3大陸、7カ国に存在するル・コルビュジエの作品を一つの世界遺産として登録するのは世界初の挑戦、これをいかに一つの書類にまとめるか、また20世紀の遺産にどうやって理解を得るかという苦労談が話された。



司会：安達氏

2002年に工学部の教員となってからも多いときは1カ月に2回もフランスへ通い、準備作業を進めた末の登録決定。そして今後について「世界遺産は登録された後のこれから、どうやって守り、価値を未来へと伝えていくかのほうがハードルが高い」。国立代々木体育館の保存運動などをどう加速させていくかという話もあった。

今本教授の立場は世界遺産登録を牽引した山名教授とはまた異なる。「国立西洋美術館にしても軍艦島にしても、世界遺産として登録されたものをいかに材料的なアプローチから保存・改修していくかが私に課せられたミッションだった」。

軍艦島には2011年からかわり始め、2015年に世界遺産の構成要素となった。

160m×460mの島に、往時は4000人が暮らした。



山名教授

人口密度は東京の9倍。電気製品なども含め当時としては最先端の「豊かな暮らし」を実現していた。30号棟は日本で最も古いRC造(1916年、清水組建設)、終戦後にかけて島内最大の建物である65号棟(1945～49年の工期)が

最新鋭入間管状ジー・エクス・パイル

G-ECS PILE®

基礎杭に、新たな価値を創造する。

昭和48年工学部建築学科 代表取締役 三輪 富成
平成5年工学部建築学科 技術本部長 小林 俊夫

株式会社 三 加 成
SANSEI INC.

Tel: 03-3639-5226 Fax: 03-3639-8182 Mail: info@sansei-inc.co.jp
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町4-3 国府船場ビル3F

北海道営業所 / 東北営業所 / 新潟営業所 / 北陸出張所 / 北関東営業所 / 美城営業所 / 千葉出張所 / 神奈川出張所 / 関西営業所 / 中四国営業所 / 九州営業所 / 沖縄営業所

空気ので振動を断つ。
エア防振フロア
(特許第5903316)

株式会社 三誠AIR断震システム
http://www.airdangha.jp/

究極の振動対策

建物の階層を隔てるコンクリートスラブと床の間に気密空間を設け、空気のクッションを作ります。振動の強弱に応じて空気圧をコントロールし、常に床全体を空気で浮揚させているため、振動が構造躯体に伝わりません。

エア断震システム 検索

SANSEI Holdings, Inc.

パネラー：山名善之（理工学部教授，1990年卒），今本啓一（工学部2部教授，1990年卒）

司会：安達功（1986年卒，日経BP社執行役員 社会インフラ研究所長）



軍艦島

建設された。

しかしその一方で島では「水をいかに確保するか」とのたたかい、過酷な塩害環境とのたたかいがあった。過酷な塩害環境下での劣化状況は甚だしく、今本教授は世界遺産の構成要素になる前から、なぜこんなに傷んだのかを調べ、その要因の一つとして1933年以前は海水を使ったコンクリートがつくられており、「味噌汁よりしょっぱいコンクリート」であったことを突き止めた、など、興味深い研究成果が紹介された。

日本ユネスコ協会連盟の定義によれば、世界遺産は「地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと引き継がれてきたかけがえのない宝物。現在を生きる世界中の人びとが過去から引き継ぎ、未来へと伝えていかなければならない人類共通の遺産」とされている。

文化遺産と自然遺産に大別され、近代建築世界遺産もベルリンのモダニズム集合住宅群（ドイツ）、ヴァールベリの無線局（スウェーデン）、ブラジリア（ブラジル）、シドニー・オペラハウス（オーストラリア）などがある。

こういった背景を踏まえて後半は、世界遺産の概要や建築と世界遺産の関係などについて、安達からガイドン

スしつつ、二人に以下の三つの問いかけを發した。

三つの問いかけとは「山名さん、今本さんにとって世界遺産とは何か？」「建築にとっての世界遺産の意義 / 効果 / 役割などをどうとらえるか？」「ふたりはなぜ、懸命に【世界遺産】を支えるのか？」である。



今本教授

これらに対する二人の代表的な答えは以下の通り。

「世界遺産は不動産や廃墟やその国の文化財だが、ベースとしてその建築物が文化として息づいていることが必要となる。年月が文化を醸成してそれがやがて歴史となる。世界遺産登録を通じたりユースやリサイクルによってこの流れを高めれることができれば、社会そのものが豊かになる」(山名教授)。

「国立西洋美術館、軍艦島ともにRC構造だが、ここ100年くらいで増えた構造であり、ようやく認知され受け入れられつつある。西洋美術館は建築物維持管理計画を準備して戦略的に取り組むことができている一方で軍艦島（軍艦島）は炭鉱が第一、護岸が第二、建築は第三の位置付けだった。その軍艦島で取り組んでいるのは補修・補強ではなく、できるだけあるがままの姿で保存するという新たなアプローチ。今後、研究を進めていくことで新たな知見や技術が蓄積される可能性が高い」(今本教授)。

セッションの後半では、「世界遺産」を手掛かりに社会と建築を切り結ぶ方法論に踏み込み、国立西洋美術館を題材にした新しい教科書「理工学の基礎 建築学—国立西洋美術館に学ぶ—」にも話題が広がった。あつという間の80分間は聴講者からも「とてもよかった」との声を多数いただいた。

日本で最も多くの1級建築士を輩出し続けている学校です。

※平成24~28年度(過去5年累計)1級建築士設計製図試験 合格者合計19,562名中、当学院受講生10,636名。

1級建築士 試験

1級建築士を1年で取得するなら総合資格学院

全国 ストレート合格者占有率

NO.1

平成24~28年度 [過去5年累計]

全国 学科・製図 ストレート合格者占有率

平成24~28年度 [学科+製図合格]
全国ストレート合格者 8,520名中
当学院受講生 5,015名

58.9%

東京理科大学 過去5年累計卒業生合格者650名中
当学院受講生419名 累計合格者占有率 **64.5%**

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受講生、教材購入者、資料の提供提供者、過去受講生は一切含まれておりません。※全国ストレート合格者数は、(公)建築技術者普及センター発表に基づく算出。※学科・製図ストレート合格者とは、1級建築士学科試験に合格した同年度の1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。<平成28年12月15日現在>

学院長:岸 隆司
総合資格学院
全国約90拠点

北千住校 TEL.03-5284-3911 足立区千住3-98 千住ミルティスII 4F

総合資格 検索 Facebook (総合資格 fb) で検索

スクールサイト www.shikaku.co.jp

コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp

法定講習 実施中 一級・二級建築士定期講習 / 管理建築士講習 / 第一種電気工事士定期講習 / 監理技術者講習 / 宅建登録講習 / 宅建登録実務講習

開講講座 1級・2級 建築士/建築施工管理/土木施工管理/1級管工事施工管理/構造・設備設計/1級建築士/宅建士/インテリアコーディネーター/建築設備士

辻本先生退任 ～ 建築学科教員退任・新任（2016,2017年）

石井智洋（2007年卒・辻本研）

辻本教授に初めてお会いしたのは2006年の春、教授が初めて、東京理科大学で研究室を持つ第一期の学生の時でした。当時の私が抱いていた（普通の）教授像とは異なり何か独特な雰囲気を持った気さくで非常に生徒に近い存在の方との印象が強く残っております。

そこから2017年5月28日の辻本誠教授最終講義まで約10年に渡って学生生活だけでなく仕事面に掛けても大変お世話になる恩師となることとなりました。これまで数多くの研究を行ってきた教授ですが、今回の最終講義では、教授が宣言されていたようにこれまでの研究を振り返るといよりも後世の研究者に向けた考えさせる講義でした。

その一つにゴーストバスターという映画に関連した講義では、作中のCGではなく実際に小さなセットを爆破させ撮影行った高層ビルの爆破シーンを取り上げ、火事を再現する際の相似性の研究について説明がありました。普通、映画を観ながら考えはしないと思いますが、どうしたら小さなセットで大きな爆破を模擬的に、そして忠実に再現できるか。実際には、建物の火事を小さなセットで再現するための研究ではありますが、さまざまな分野で広く応用が利き、現在の再現技術の基盤になっている研究だと考えさせられました。

今回の最終講義と懇親会にてたくさんの方とお話させて頂きましたが、教えて頂いた年代や学校は違えども教え子が思うのは、「エアコン嫌いでもとても変わった教授」が共通認識となっているようです。数年～数十年ぶりに会う方がほとんどでも、あの頃と変わらず興味深い講義をしてくださった教授に、出席した理科大と名古屋大学の卒業生約100人の方々も、学生時代を思い出したように頷く姿が印象的な最終講義となりました。

今回、教授に会うやいなや、わたしのお腹のお肉をいじりながらもすぐに、神楽坂にミストを咲かせるNPO法人を発足させるとの話を伺い、引退という言葉は、まだまだ先のようにこれからもご活躍を期待しております。



最終講義に出席された皆さん

辻本誠先生 工学博士

1974年東京大学工学部建学科卒業、1978年同大学院博士課程中退後、建設省建築研究所、名古屋大学教授等を経て、2004年より東京理科大学総合研究所火災研究部門教授。2006年より東京理科大学工学部第二部建築学科教授。



新任助教



鄭新源（助教） 2007年東京大学大学院工学研究科博士課程修了、博士（工学）。日建設計総合研究所、千葉大学を経て、2016年度から環境研助教に着任。専門分野は環境心理で、居住環境の快適性について研究しています。



石樽督和（助教） 明治大学大学院博士後期課程修了（2014年）、博士（工学）。明治大学助教を経て2017年4月より伊藤裕久研究室の助教となりました。日本の近現代都市史の研究をしています。著書に『戦後東京と闇市』（鹿島出版会）など。



櫻井雄大（助教） 2014年東京大学大学院工学系博士課程修了後、東京大学生産技術研究所で大学施設の設計及び監理をしておりました。建築・都市計画、特に数理的なアプローチによる解析を専門としています。



清原千鶴（助教） 九州大学大学院工学研究科修了後、大分大学に勤務。2012年より今本研で補手として勤めておりましたが、今年度より助教となりました。最近は、山頂で食べるインスタントラーメンが最高で登山にはまっています。

退任された教員（2016, 2017年）

- 2016年3月退任
梅津裕二 助教 定年 非常勤講師として勤務
磯部孝行 補手 武蔵野大学赴任
- 2017年3月退任
辻本誠 教授 定年 嘱託教授として勤務
本間敏明 助教 定年
濱定史 助教 山形大学赴任
藤井健史 助教 立命館大学赴任
涌井将貴 助教 新潟工科大学赴任
焦喩 助教 東京都市大学赴任

カリフォルニアから



東京理科大学客員教授（工学系研究科）
北加理窓会副会長：熊谷一清（1992卒）

熊谷はサンフランシスコに移り7年になる。主な職場は California Department of Public Health の室内空気質部門の部門長、Lawrence Berkeley

National Laboratory の室内環境部門の連携研究員を、また今年から東京理科大学の工学系研究科で客員教授を勤めさせていただいている。理科大の同窓会との関わりとしては北加（北カリフォルニア）理窓会の副会長を努めさせていただいている。仕事は行政の視点で環境、特に建築環境による健康影響とその対策技術の提案や評価などを行なっている。所属は複数あるが建築環境を設備、環境、保健、生化学など様々な領域を橋渡し研究成果を最終的に政策の下地を創りに落とし込むのが自分の今の仕事と認識している。

Silicon Valley を含む Bay Area (サンフランシスコ湾周辺) で仕事をしているとよく気になることを耳にする。『使える日本人技術者がいない』と。建築分野のようにローテク

で他産業の技術を組み合わせ建築物への最適化を目指す領域ではあまり感じないこともかもしれない。この苦



霧のサンフランシスコ、ゴールデン・ゲート・ブリッジ

言 / 皮肉を一人からだけ聞いたのであれば主観かなあ、二人だけからなら偶然かなあ、と思うがこの話を聞くのは一度や二度ではない。産業が単体を造るところから世界標準のシステム創りにシフトしその変化に日本人が追いついていないだけなのかと思いきやそうではなく、技術そのものを持ってないということのようだ。アメリカの大学院で教えていると少数派の日本人学生（自分の講義の場合1%弱）は遜色なく講義について来るのに何故か実社会に出るといつのまにかマーケットバリューが落ちてしまうようだ。

残念ながらこの状況は肌感覚であり実際に海外に出てみないと分からないと思う。それ故より多くの人、特に経験が浅く先が長い若い世代には技術開発、Global Standard 創りの主戦場に出て将来に繋がる経験を積んでもらいたい。

青森市 夫婦二人の設計事務所 住宅設計がメイン 食べていけるか？



(有) 山本プランニング一級建築士事務所

山本潤児 井口研究室 (1987年卒) 筆者、山本恭子 (旧姓 和田) 内田研究室 (1989年卒)

「独立して18年が経過、大丈夫 食べていけますよ！」

大学卒業後、私は積水化学工業でセキスイハイムの工法開発、2年下の妻はヒューレットパッカートの建設営業部に就職。結婚し、会社勤めが5年続いた頃「僕は設計事務所に憧れて建築を目指したのではなかったか？」との思いが頭をもたげてきました。妻のおなかには一人目の子供、でも自分の気持ちに抗うことはできません。

「君は設計事務所を目指さなくてはならない」との“お告げ”を自分に告げ、

東京出身の妻のお母さんの涙を振り切って、私の地元青森市の設計事務所に勤務、公共建築が主体で学校・共同住宅・スポーツ施設など経験しました。二人目の子供も授かり、設計事務所勤務が7年になった頃、またまた“お告げ”が・・・

「君は独立しなくてはならない」妻に相談したところ「やってみましょう。二人で進めば大丈夫」その言葉に後押しされ気合一発独立しました。

地方における設計事務所が海外とつながる時代に

独立と同時に多忙な日々が始まりました。営業から設計とすべて二人で回し、個人事業から有限会社へ。そうこうしているうちに、妻のおなかには三人目の子供が……。二人の娘を学校に送り出し、長男を入れたベビーラックを左足で揺らしながら矩計を書くスキルも身につけました。現在、青森県内スキー場のリニューアル計画をアメリカ・シンガポール・インドネシア・日本4か国でメール・スカイプで打合せ、計画を進めています。独立して18年私たちは小さなヨットで航海しています。皆さんはどんな航海をしていますか。皆さんの航海を応援しています。

平成28年4月1日～平成29年3月31日 築理会決算報告

収入の部

部門	摘要	金額
繰越金	平成27年度繰越金	2,635,831
築理会会費	3,500円×144名	504,000
	30,000円×13名	390,000
	2,000円×6名	12,000
	会費合計	906,000
広告収入	会報春・秋	226,800
一般寄付		117,500
その他	銀行利息	2
余剰金	新年会・総会	32,990
今年度収入総計		1,283,292
総収入		3,919,123

支出の部

部門	摘要	金額
会報	春号	1,061,277
	秋号	188,497
編集費		40,000
名簿	印刷・発送	0
ホームページ維持費		343,224 (リニューアル代含む)
事務費		111,962
運営費		13,000
築理会賞		40,000
りぼん支援		100,000
今年度支出総計		1,897,960
来年度繰越金		2,021,163
総支出		3,919,123

平成 29 年度会費納入のお願い

現在、平成 29 年度の会費の納入をお願いしております。

同封の振込用紙にて、お振り込み下さい。

今後のさらなる築理会発展のため、多くの方のご協力をお願いします。

年会費 3,500 円

加入者名 築理会

口座番号 郵便局 00110 - 5 - 171952

築理会のホームページをご覧ください

築理会 - 東京理科大学工学部建築学科同窓会ホームページ <http://www.chikurikai.org/>
女子部会のホームページも開設しています。

「築理会女子部会ホームページ」ボタンでジャンプまたは、「築理会女子部会」で検索。

インフォメーション

2016 年度成績・卒業制作最優秀及び 築理会賞受賞者

- *1 部・成績最優秀：齊藤圭太
 - ・卒業制作最優秀：近藤弘起
 - [築理会賞]・成績：阿部結花
 - ・卒業制作：近藤弘起
- *2 部・成績最優秀：小松彩乃
 - ・卒業設計最優秀：佐々木風音
 - [築理会賞]・成績：守屋佳代子
 - ・卒業設計：傅嘉彦

OB・OG と学生との交流懇親会

場所：葛飾キャンパス（教室未定）

日時：11/18（土）15:00～

築理会新年会

場所：PORTA 神楽坂 6F 理窓会倶楽部

日時：1/17(水) 18:30～20:30

会費：3,000 円

野田建築会と共催

『平成 29 年版築理会 名簿』完成

今年度会費納入者・終身会員
に配布されます。



編集後記

表紙の写真は総会・講演会終了後、神楽坂森戸記念館前で撮影したものです。藤嶋昭本学学長もご出席されていたので、一緒に入らせていただきました。

森戸記念館は毘沙門天の前の路地を入ったところにあります。神楽坂通りは以前とは大きく変わりましたが、一步路地に入ると懐かしい神楽坂そのものです。写真の右には「伊勢藤」の看板も見えます。「伊勢藤」に行かれたことのある方には囲炉裏のある店内を懐かしく思い出されるのではないのでしょうか。神楽坂には PORTA 神楽坂 6 階に「神楽坂倶楽部」もあります。お近くに来られた際にはお寄りください。（大岩記）

編集長：大岩昭之

副編集長：近藤 剛啓

編集委員：野田 正治、飯山 道久、
荒井 眞一郎、浦山 千明、伊藤 学、
森 清、安達 功、高橋 潤子、
三浦 博範、栢木 まどか

誌面構成：天神 良久、林 利也